

## いらんちゃフェスタ2015in丹後（続報2）

10月31日、京丹後市網野町アミティ丹後で「いらんちゃフェスタ2015in丹後」での国会報告と現地からの報告（要旨）を掲載します。遅くなりましたが前号の続報です。



### 現地報告 1

#### 米軍基地建設を憂う宇川有志の会事務局長・永井友昭さん

基地の稼働後、袖志の住民の方から、「うるさくて寝られん、こんなことまで容認していない」という話が出てまいりました。実際にやたらにうるさくて健康被害が出るという状況になりました。そこで防衛局の責任者榎賀氏を呼んだところ、「悪うございました。想定外のことがおきている」「できることはする」と。この人が、できもしないこといっぱい約束し「あなた方の安全は確保する」と言った人ですけれど、いまは出世して防衛省本局に帰っている。

そうするうちに2月19日に一番恐れていた交通事故が宇川で起きました。軍属が前を見ずに右折をして対向車にぶつかり電柱にも激突するという事故でした。幸い大きな事故ではなかったんですが、頸椎捻挫でした。これ以降も事故は重なって現在20件となっています。昨年度の宇川の区長さんの代表の方々が、騒音の問題、事故の問題、あまりにもひどいのではないかと司令官に直接申し入れて、謝罪させるということもできました。

今の基地の状況に移ります。1期工事が終わり、2期工事で宿舎をつくる状況となっています。レーダーサイトは、防音シートで目隠しされ今見えなくなっています。今、発電機は、騒音でパネルとシートで囲まれている

す。米軍は最初、マフラーをつければほとんど音は消えると言っていました。確かに少し弱くなりましたが、ぜんぜん消えないので、こういうシートがかけられた。それでもまだ消えていません。うる音やザーという音がお寺の方に聞こえてきます。

真ん中の通信施設はゴルフボールとも言うようですが、大きな通信施設が1日で出現しました。宇宙からの情報をキャッチするアンテナのようです。これは車力にはありません。ここにしかなく、この基地の重要性がわかります。

入り口のゲートの警告板は、当初、「日本国憲法によって侵入は罰せられる」としていたのを、我々が指摘し、憲法を法律に変えさせました。警備員はM16小銃、ライフルを携帯し警備をしている。腰には拳銃も持っている。重装備で警備をしています。

Yナンバーの車がさかんに入ってきます。52台ほどに。マイクロバスで通うとしていたのに空っぽです。

網野町島津の軍属の予定地では、6棟の宿舎を建設中です。12月に引き渡すために突貫工事です。地元は住民の意向調査をしたが、市長が調査をやること自体が人権侵害だと言い、非公表となった。宇川では運動会に米軍が参加したいと言われたが大反対の聲がでてやめになりました。

現在、3つの団体、市長と防衛局と司令官に質問状を出していますが、まだ、回答はありません。私たちはだまってはいません。京都に米軍基地はいらない、どこにもいらないとがんばる。

発行：米軍専用レーダー基地の設置の撤回を求める京都府民の会（略称：米軍基地いらない京都府民の会）連絡先：京都市中京区土生仙念町30-2 フォールボール京都5階 京都総評内 京都共同センター 4149 電話075-801-2308 fax075-812-4149 過去のニュースはURL：<http://www.labor.or.jp/sohyo/xband-home.html>で見ることができます。



## 現地報告 2

### 京丹後市議会議員・田中邦夫さん

市長が受け入れ表明をし、さらに本格稼働をする、そういう中で市長の態度が大きく変わってきました。それまでは、市民の安全安心の確保が大事だと何回も確認をしてきたわけですが、そういったことに対してみなさんの懸念や意見を議会に持ち出しますと、反対に怒り出すという市長の態度になっています。稼働前に懸念されていたことが現実の問題として大きくなってきました。

発電機の騒音問題がありましたが、当初持ち込まれた発電機には消音機がついていない、戦闘地仕様の発電機でした。爆音が出るものを車力とぜんぜん違う民家がすぐ横にあるところに持ってきたわけですから大変です。健康被害が訴えられました。こうしたことに対しても市は一言も言えない。せいぜい、米軍や防衛省に要請をしていると繰り返すだけです。さすが、地元のみなさんが、基地は受け入れたけど騒音は受け入れてないと、怒りの声をあげられました。これが政治を動かして市議会の特別委員会も抗議し、マフラーがつき、次に騒音パネルがつけられましたが、いまだに苦しんでいる住民の皆さんがおられます。

交通事故の問題も議会でもとりあげてきましたが、「京丹後市民もたくさん事故を起こしている」「なぜあなた方はそこまで米軍軍属が起こす事故を問題視するのか」と、こういった感覚

です。とても許すことはできないと思います。

この10月に「軍部独走」で問題となった河野幕僚長が視察にきています。アメリカに行って、国防総省で米軍と宇川の米軍基地問題について協議をしている。京丹後の経ヶ岬がその舞台になっている。今年の4月の「日米ガイドライン」では、もう一度、経ヶ岬が弾道ミサイル防衛の重要な基地だと日米で確認をされた。許されない危険な地域に一層なっていることが明確になったと思います。

市長が10要件について申入れをし、防衛省から最善の回答を得たとし受け入れを決めたのですが、最善の回答とは一体なんだったのか、この声を大きくしていきたい。来年には市長選挙がありますが、こういった基地容認の市政を変えていかなくてはならないと思います。丹後の基地も戦争もいらぬとの声を大きく上げていきたい。

### 国会報告

#### 日本共産党参議院議員

#### 倉林明子さん



稀代の悪法戦争法が成立しましたが、国会の外でのたたかいが広がり民主主義が花開きました。新しい政治の流れが大きくなった。戦争法を廃止する政府をつくろうとの呼びかけにも、声が広がっている。



#### 社会民主党参議院議員

#### 福島瑞穂さん

風光明媚なところにXバンドレーダーはいらないと強く思います。戦争法が強行されましたが、集団的自衛権もXバンドレーダーもいりません。いっしょに連携して行きましょう。